

第2次刈谷市食育推進計画（案）に対する意見と市の考え方

1 実施状況

- (1) 募集期間 令和2年12月1日（火）～令和3年1月4日（月）
 (2) 意見の件数 6件（2人）
 (3) 提出方法の内訳 FAX 5件、メール1件

2 意見の概要と市の考え方

番号	意見の概要	市の考え方
1	<ul style="list-style-type: none"> ・「若年層の食習慣の乱れ」が一番心配。 ・若年層に刺さる「興味付け」ができていないのではないか。 ・栄養素だけでなく、食品添加物のリスクについても伝え、健康のため、何を避け、選ぶべきか心得も伝えるべき。 ・家庭においては、親から子だけではなく子から親の伝達ルートもあるので、子どもに体験してもらうことで一歩踏み込んだ食育につながるのでは。 	<p>若年層への食育の啓発は、食育推進における課題と捉えており、計画の中でも重点プログラムに位置付け、食の安全についても、アレルギーも含めて啓発していきたいと考えております。</p> <p>また、家庭における伝達ルートは、市でも認識しており、これまでの学校給食における食育活動や親子料理教室等は、子供に体験してもらうことを重視して実施してまいりました。</p> <p>今後も、取組を継続することで、食育の啓発を実施してまいります。</p>
2	食育の日・食育月間について、市民全体に伝えるため、市民健康講座のテーマとする、横断幕を張る、のぼり旗を立てることを提案します。	<p>市では、毎年食育月間の6月に市役所食堂で食事バランスガイドを掲示する等して、PRを実施してまいりました。</p> <p>今後も、年間を通して家庭や学校、職場等さまざまな場面で触れていただけるよう食育に関する啓発をしてまいります。</p>
3	<ul style="list-style-type: none"> ・愛知県が発行している冊子「あいちの郷土料理」を使った料理教室を開催してみてもどうか。 ・障害者が対象の料理教室開催を希望する。 	<p>本市において、様々な方を対象に料理教室等を開催しており、郷土料理については、刈谷生きがい楽農センターで実施しております。</p> <p>また、障害の有無にかかわらず、どなたでもご参加いただけます。</p>
4	10月30日は食品ロス削減の日であるので、毎月30日に市役所、各市民センターに余っている食品を入れる回収箱を設置してはどうか。	回収箱の設置については、安全・衛生上の観点から、フードバンクの活動を行う団体との調整が必要だと考えます。
5	食育ボランティアについて、刈谷市の活動団体・個人の登録制度をつくり、交流会を年に1回設けてほしい。アンケートでも良いから交流したい。	<p>食育ボランティア団体や指導者は、県に登録名簿がある他、かりや衣浦つながるネット等にご登録いただけます。</p> <p>県主催の交流会等の開催は、情報提供してまいります。</p>
6	SDGsについて、刈谷市食育推進計画が取り組む分野を書き入れてはどうか。	「計画の推進と数値目標」という項目の中で、SDGs達成への貢献ができる旨を記載します。